

会議結果報告書

会議の名称	令和4年度第3回茅野市総合計画審議会		
開催日時	令和4年10月11日(火) 18時30分～20時30分		
開催場所	茅野市市民活動センター 3階集会室		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局	○議事		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長挨拶 3 副市長挨拶 4 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 審議会等の公開について (2) 第6次茅野市総合計画の策定に向けた与件の整理 資料1～資料4 (3) これからの茅野市のまちづくりのイメージと総合計画の構成等について 資料5 5 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第5次茅野市総合計画の進捗状況等について 資料6 6 閉会 		
会長	○議事録		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長挨拶 <p>令和4年の地価調査においては長野県の代表幹事を務めたので、少しお話をさせていただく。大きなテーマとすれば、コロナ禍と土地価格の関連であった。住宅地については、リモートワーク需要やコロナによる隔離などにより、広い土地や住宅需要は堅調であった。原村では26年ぶりに住宅地の価格が上昇した。商業地についてはまだコロナ禍以前の水準には戻っていないが、巣籠もり需要により、幹線道路沿いのファーストフード店やドラッグストア、日用品店などの売上は比較的堅調に推移したよう。工業地については、部品の調達不足などの問題を抱える業界もあるが、全体的には堅調に推移した。特に通販などの需要増加によるものと思うが、インターチェンジ近くの流通業務用地や倉庫用地の需要が増加したのが特徴的。私たちの生活は、目に見えるところも見えないところも大きく変化していると感じている。本日の市からの説明を参考に、時代の変化を踏まえて与件の整理を進めていきたい。本日はよろしくお願ひします。</p> 		
副市長	<ol style="list-style-type: none"> 3 副市長挨拶 <p>これまで2回の会議では、少子高齢化が進行する中でのコロナ禍やウクライナにおける戦争など、時代を揺さぶるような出来事が起きていること、時代は分岐点を迎えていることを共有してきたと思う。6次総の策定を通じて、これからの時代に何が大切なのか考え、基本的な価値観などを共有することが必要であると考えている。先月、エプソングループでは複数の計画</p> 		

	<p>や戦略を整理してパーパスを制定したという報道があった。茅野市においても6次総は福祉、環境、教育など様々な分野の計画を総合するものであり、それぞれの分野で目指すところを掘り下げていくと、共通の目的や使命というものにたどり着くのではないかと思う。本日も忌憚のないご意見をいただき、茅野市のめざす方向性を整理していきたいと考えている。本日はよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>4 協議事項 (1) 審議会等の公開について —公開とすることに異議なし—</p>
事務局	<p>(2) 第6次茅野市総合計画の策定に向けた与件の整理について 資料1 =企画係主査が説明=</p>
事務局	<p>資料2 茅野市の地域経済循環分析については委員から紹介いただいたもの。詳細説明は割愛し、委員からコメントをいただく。</p>
委員	<p>この資料は、7、8年前に環境省から公開されたシュミレーターを活用したものだが、この後の資料4の長野県がAIを活用して行ったシュミレーションとも関係している。資料4では望ましい未来シナリオはグループ2、つまり環境と経済が両立している社会と結論付けているが、この結果は7年前に環境省が提案した内容そのものである。このシュミレーションにおいては地域経済政策の最終的な成果は地域住民の所得あるいは資金の向上であるという考えを軸にしている。資料をご覧いただければ何と何がどのように関連し、茅野市が変化してきたかを数字で捉えることができる。忙しい方は70ページから74ページだけでも参考になると思う。本資料に基づく私の意見としては、茅野市は所得が全国平均程度で高くなく、高齢化が全国よりも進んでいること、資金が市外に流出していること、こういった状況を鑑みると、これらの課題を同時に解決することが必要であると考え。具体的には、一つ的手段であるが、高齢者の就業を増やすことが求められているのではないかと考えている。以上、議論の参考にしていただければと思う。</p>
事務局	<p>資料3 資料4 =DX推進係主査が説明=</p>
委員	<p>資料3の4ページ、事故・犯罪の偏差値が25.7と著しく低い。これは5ページの刑法犯認知件数や交通事故件数のKPIを基にしていると思うが、これらのKPIはそれほど低くない。こういった算出になっているのか。</p>
事務局	<p>10ページにあるように、空家率のKPIも偏差値算出に用いているためこのような結果になっている。茅野市における空家は別荘が多くを占めているため、全国と比べて著しく空家問題が深刻かという点必ずしもそうではないと考えている。</p>
委員	<p>空家率というのはそんなに事故・犯罪の要因になるものなのか。</p>

事務局	<p>この客観指標は全国統一の指標であり、比較可能性を担保するためにこのような指標が採用されている。個別に指標を見たときに、算出方法が適切なのかについては議論の余地はあると思う。一般論ではあるが、空家は犯罪の温床になるということも言われるため、偏差値そのものに一喜一憂するのではなく、算出方法も踏まえた上で、まちの特徴を捉えるものとして俯瞰していただくのが良いと考える。</p>
事務局	<p>資料5 =企画係主査が説明=</p>
会長	<p>個人的にはわかりやすいと感じた。やさしさとたくましさが相対的にあり、その間をしなやかさがうまくつないでいるように思う。コロナ禍後のまちづくりを考えていく必要がある中で、少し交流拠点のイメージができたように思う。</p>
委員	<p>6ページまでと7ページ以降のつながりがわかりづらい。6ページまでは最上位の概念が「すべての市民が便利で暮らしやすい若者に選ばれるまち」であると思うが、7ページ以降は「市民一人ひとりの幸せの実現」となっている。この繋がり、使い分けはどうなっているか。</p>
事務局	<p>6ページまでの「すべての市民が便利で暮らしやすい若者に選ばれるまち」というのは、7ページではビジョンから下の部分にあたる。「市民一人ひとりの幸せの実現」のためにどのようなまちであることが必要か、ということビジョンから下の部分で表現している。</p>
会長	<p>委員の意見も参考にわかりやすいものとしていっていただきたい。</p>
事務局	<p>この資料でお示しした内容はあくまでたたき台であるため、また改めてご意見等をいただきたい。</p>
事務局	<p>5 報告事項 (1) 第5次茅野市総合計画の進捗状況等について 資料6 =企画係主査が説明=</p>
会長	<p>5次総は今年度末までということで、並行して6次総を検討しているわけだが、6次総には5次総ではできなかったことや新たな課題について載せていくことになると思っている。</p>
委員	<p>5ページのグラフについて、令和3年の値の方が平成27年の値よりも低いはずだが、視覚的には逆になっているので注意したほうが良い。</p>
委員	<p>次回以降の進め方について、期間が空いてしまうと内容を忘れてしまうので、早めに開催してほしい。また、資料5にあるが、行政が目指すゴールが市民一人ひとりの幸せの実現ということであると、全市民に通底する普遍的な価値観のようなものを考えなければならないが、この場でそれを考えることは難しいのではないか。ワーキンググループのようなものを作って検討することも必要か。特に、SDGs、縄文の普遍的な価値観などはほとんどわかっていない。その辺りも示してほしい。</p>

事務局	<p>Well-Being や市民一人ひとりの幸せというのは大きなテーマであるため、普遍的な価値観を決めるのは難しい。過去の計画における理念や構想にもなぞらえていく必要があると考えている。縄文についても何かしら勉強や情報を共有する機会があってもいいと思うが、それをこの会議で行ってしまうと収束に至らない可能性もあるため、方法については事務局で考えさせていただきたい。</p>
会長	<p>会議の開催にあたってはもう少し早く資料を送ってほしい。</p>
事務局	<p>本来は事前に資料をご覧いただき、会議の場では皆さんに議論いただくべきところ、資料説明だけで会議時間の大半を使ってしまったのは反省点として、次回に活かしていく。</p>
副会長	<p>6 閉会 今日は非常に情報量が多い会議であった。いくつかの新しいキーワードも出てきた。それらも踏まえて委員の皆さんもイメージを膨らめていただければと思う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>